

ママのための「お金の人生設計の6つのステップ」

資産形成を始めるにあたって

あなたは老後の「お金」について心配ですか？

「お金」の問題は自分でなんとかするしかありません。そして必ず解決できる問題です。

一般的には、自分の人生の持ち時間を使って、計画的に貯蓄して行くことで解決します。

現在の収入は、「今の生活費」だけではなく「将来の生活費」でもあるのです。



6つのステップで考えてみよう！

① 必要な貯蓄額を決める



② 全体でリスク資産をいくら持つ？



③ リスク資産と無リスク資産の中身



④ お金の置き場所（つみたてNISA等）は？



⑤ 投資商品を選択する



⑥ 金融機関の決定をする

(0) お金を持つ3つの自由

1. 使い道の自由

- 使い道は後から考えた方がいい

2. 大きさの自由

- 大きすぎても邪魔にならない

3. 形の自由

- 同じ対象・比率で投資すると同じ結果

お金の運用方法は誰でも同じ、「最も効率な方法」でいい。
違いは、運用金額とリスクを取る大きさだけ。

① 必要な資産形成の金額は？

月々に**必要な積立額**を考えてみよう！

人生設計の基本公式とは、ひとことでいえば老後(通常65歳)に「現役時代の何割の生活水準で暮らすか(x)」(通常は7割)を決め、それまでに「手取り年収の何割を貯めるべきか」=必要貯蓄率(s)を計算するものです。

- ・「手取り年収(Y)」は今後の平均の手取り年収を入れる
- ・「現在貯蓄額(A)」について
- ・「年金額(P)」について
- ・求めるのは生涯を通じた「必要貯蓄率」

- ・例えば、必要貯蓄率20%の人が、手取り年収300万円なら、年間の必要貯蓄額は60万円になる。手取り収入が500万円に増えれば必要貯蓄額は100万円になる。
- ・ライフプランに変更があればその都度求める。

- ・「平均」ではなく、「自分の数字」で計算してみよう
- ・参考:「人生設計の基本公式」
(<https://www.officebenefit.com/calculate/index.html>)



◎教育費の基本的な考え方として、高校までの授業料や塾代は、月々の生活費からまかない、入学金、大学の授業料等は貯蓄から取り崩す。

【参考】国公立・私立大学昼間部4年間の学費の平均額 (万円)

	入学金	授業料	4年間の合計	
国立大学	282,200	534,800	2,421,400	※文部科学省「平成27年度学生納付金調査」より計算
公立大学	397,721	537,857	2,549,149	
私立大文系	242,579	746,123	3,227,071	※文部科学省「平成26年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額調査」より計算
私立大理系	262,436	1,048,763	4,457,488	
私立大医歯系	1,038,128	2,737,037	11,986,276	

② 全体でリスク資産をいくら持つ？

「最悪の場合1年で3分の1損をするけれども、同じくらいの確率で4割くらい儲かることがあり、平均的には年率5%程度で儲かる」投資対象があるとすると、幾ら持ちたいか？ と考えてみよう。

(※ 内外の株式インデックス・ファンドの場合)

金融資産全体

リスク資産

無リスク資産

この金額(率ではなく)を決める



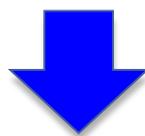
【参考：リスク評価の簡便法】

リスクは「360」で評価する

① 65歳～95歳迄の30年間は360カ月

② 360万円あれば毎月1万円取崩せる

◎「360万円損をすると、一月に使えるお金が1万円減る」



❖ 360万円の損得を、老後の「毎月1万円」と考える。

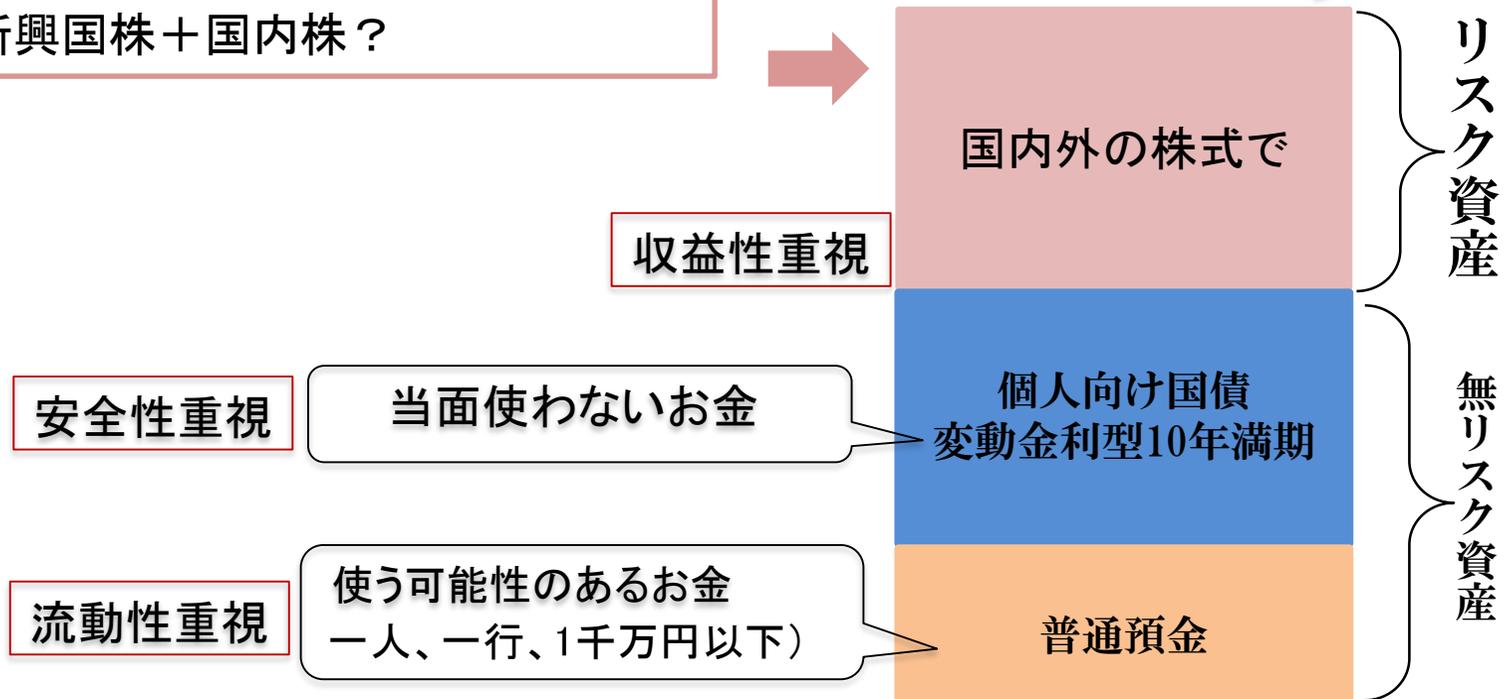
③ リスク資産と無リスク資産の中身は？

リスク資産の中身を考えてみよう！

- 現在の金利では債券を持つことは勧めにくい
- 内外の株式で持つことがおそらく合理的
- 外国株＋国内株？
- 全世界株式？
- 先進国株＋新興国株＋国内株？

個人の運用の基本構造

「最大損1/3、
平均年率5%」くらいと考
えて、投資金額を決定

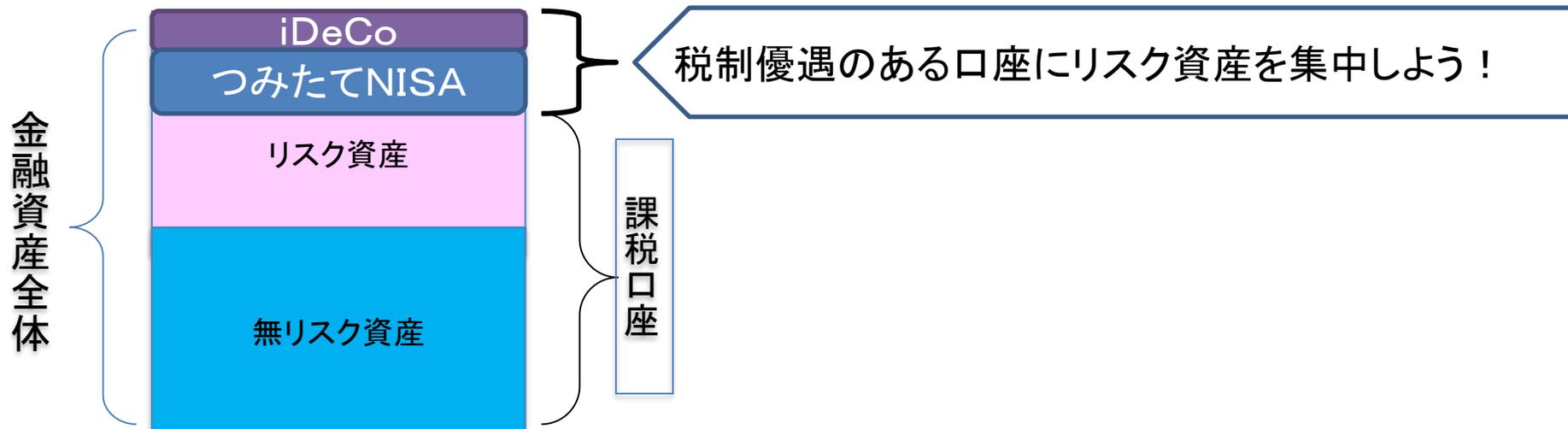


④ お金の置き場所は？

- iDeCo
- 一般NISA
- つみたてNISA
- 課税口座

...

● 税制上の優遇を最大限に利用しよう！



アセット・アロケーション

	外国株式	国内株式	無リスク資産
課税口座			
NISA			
確定拠出年金			
合計			

アセット・アロケーション

⑤ 投資商品の選択

- コスト(信託報酬)を重視しよう
- 長期・積立・分散投資に適した商品を選ぶ
- つみたてNISAでは、長期投資に適した商品に限定されている！

運用商品評価の基本原則

+) 市場リターン

共通...

+) 運用スキル

評価不能...

-) 手数料

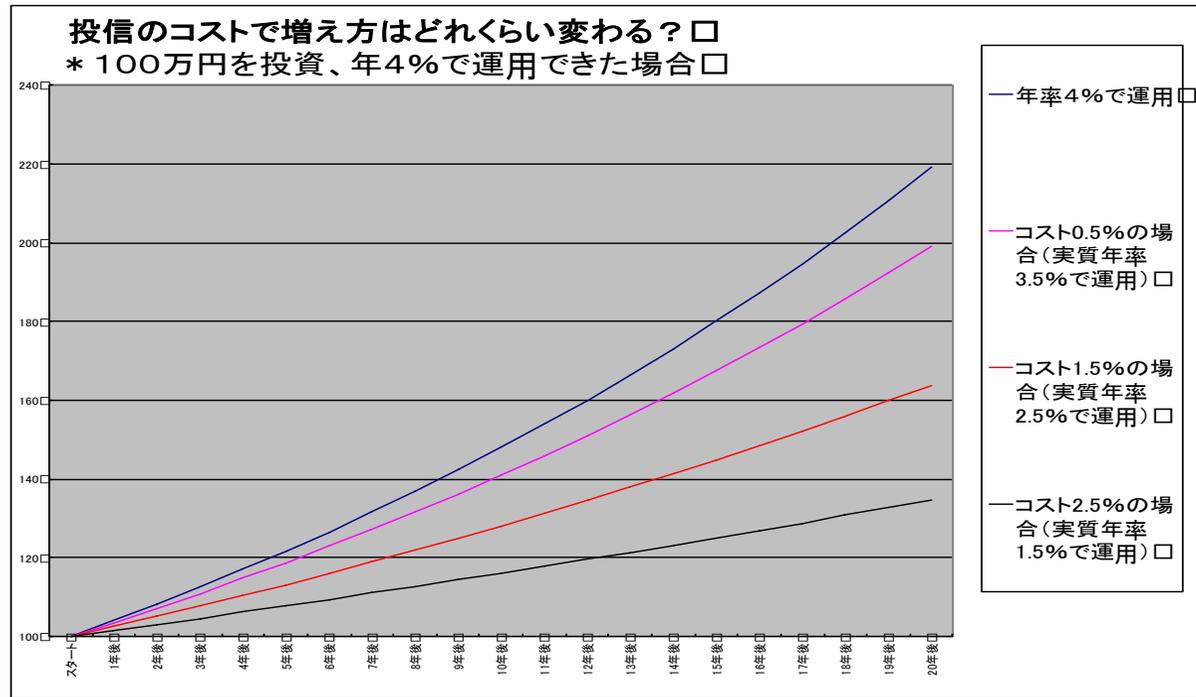
確実な差！

運用商品のリターン

⑥ 金融機関の決定は最後！

- 先に金融機関を限定しない方がいい
- 投資したい運用商品のある金融機関を選ぶ
- 運用方法、商品、金融機関は自分で選ぶ！

【低コスト】コストも複利で効いてくる



今年からスタートする「**つみたてNISA**」は投資初心者の特におススメ！

- ・年間40万円まで20年間積立て投資ができる。
 - ・得られた利益に対して20年間課税なし(つまり最大限の非課税投資枠は800万円になる)。
 - ・金融庁が「ノーロード」(販売手数料ゼロ)で、運用管理手数料が安いなど、厳しい条件を付けた商品を対象を限定した(4月23日時点148本)。
- 手数料稼ぎの悪影響を受けにくい。また少額の積立で投資するので「大きく失敗しにくい」性質を持った投資体験ができる。

金融庁のつみたてNISA特設ページ

<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/tsumitate/>

今の収入は、「今の生活費」と「老後のお金」です。

現役時代にいかに貯めることができるか、言い換えれば「いかに計画的に将来のために移動することができるか」で、あなたの人生は、よくも悪くもなります。

お金があれば幸せということではないけれど、生きるためにお金は不可欠。お金によって人生の自由度は増します。

お金とは、単なる「手段」です。「安心」や「快適」や「便利」と交換できます。

単なる「手段」である以上、**できるだけシンプルに扱うこと**です！！